

7. 今後の対策

①岐阜県が推進する自助実践 200 万人運動を市としても推進していきます。

減災をめざす三つの柱「自助」「共助」「公助」

自分の命は自分で守る みんなの地域はみんなで守る

自分の命を守る「自助」と、
みんなの地域はみんなで守る「共助」、
行政が担う「公助」の

3本柱が連携し、バランスよく支えあうことが、減災を進める上で最も重要です。



②危機管理体制の強化

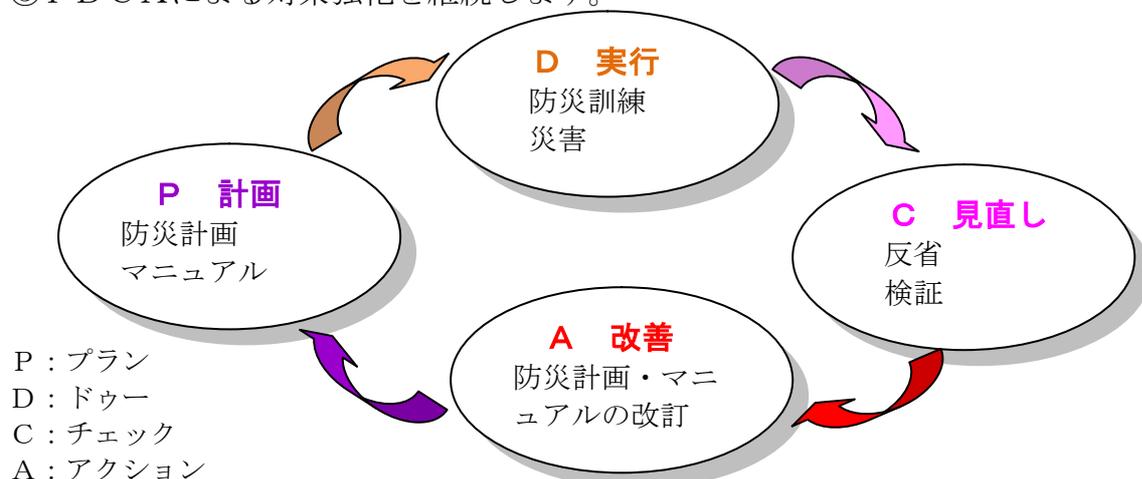
空振りを恐れず、最悪の状況を想定し早めの対応を実施します。

危機管理 (参考：防災マネージメントの分類：河田 1997)

	リスクマネージメント (災害発生前)	クライシスマネージメント (災害発生後)
ハードウェア (設備)	河川・水路の整備 狭あい道路の整備 建物等の耐震化	危険箇所の通行止め 応急復旧
ソフトウェア (教育・計画)	防災教育・防災訓練の実施 防災計画・防災マニュアルの作成 情報収集・発信 (ハザードマップ)	情報伝達 物資の備蓄 避難所対応
ヒューマンウェア (人・体制)	災害時要援護者制度の充実 ボランティア	災害時要援護者のサポート 災害時の心理ケア
コマンドウェア (指揮命令)	災害対策本部機能の充実 指揮系統の一本化	災害派遣等の応援要請 関係機関との連絡調整 復興計画

各部門について常に見直し、危機管理体制の充実を図ります。

③PDCAによる対策強化を継続します。



危機管理の具体的な取り組み

◇ ハードウェア (設備)

- ①市道 50 号線アンダーパスに監視カメラや電光標識を設置し、迅速な交通規制により被害をなくします。【H22 年度対応】
- ②カラーコーン・バリケード・土のう袋など資材を分散備蓄し、危険箇所に対応できる体制を作ります。【H22 年度 公民館・小中学校に設置済】
- ③水位計のシステムを見直し、より確実に水位を把握できるように取り組みます。

◇ ソフトウェア (教育・計画)

- ①自治会で災害時の対応を定めた、ハザードマップの作成を推進します。
- ②「自分の命は自分で守る」といった自助の考えと、その方法をPRしていきます。
- ③地域防災計画やマニュアルなどを常に見直し、改善していきます。

◇ ヒューマンウェア (人・体制)

- ①職員の研修などにより、災害対応の能力向上を図ります。
- ②災害に対しては、人的被害を出さないことを目的に、初期段階から全庁体制で取り組みます。
- ③自主防災組織の強化など、災害時要援護者制度を充実させるよう取り組みます。

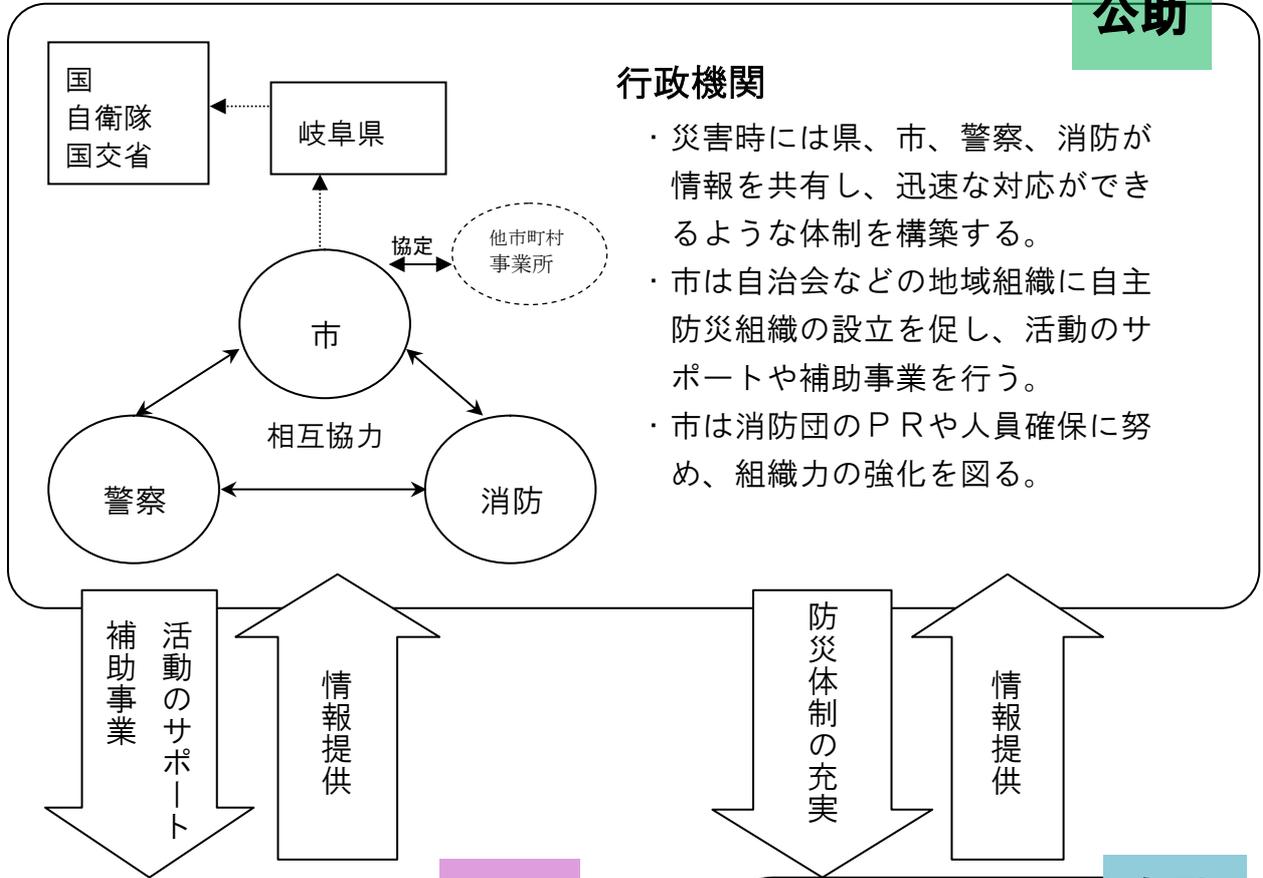
◇ コマンドウェア (指揮命令)

- ①防災訓練の充実を図り、危機管理体制の強化に取り組みます。
- ②常に改善に向けて取り組みます。
- ③関係機関とは平時から連携を取ることで、有事の際に迅速に対応できるようにします。

◆地域の防災力を高める

個人、地域、行政のそれぞれが防災への備えを強化し、地域全体の防災力を高めます。行政は個人・地域への情報提供や活動支援などを行うとともに、県、消防、警察など関係機関との連携強化や庁内危機管理体制の徹底など、実践的な災害対応能力の向上を図ります。

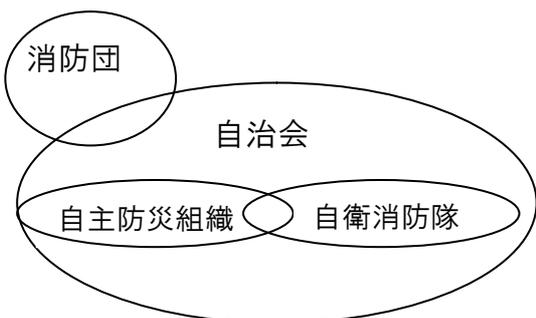
公助



共助

地域組織

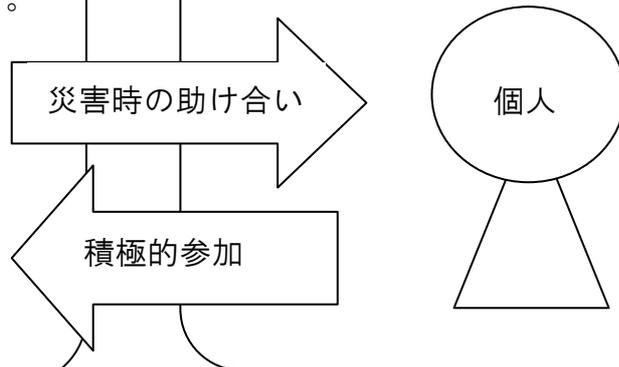
- ・自主防災組織を設立し、災害発生時に地域の情報伝達や安否確認、災害時要援護者の支援などが素早くできることを目指す。
- ・消防団は訓練を行い、災害時に備える。
- ・地区の危険個所を把握し、住民に周知するとともに行政に情報提供を行う。



自助

個人

- ・災害に備えて、非常食や非常持ち出し袋などを準備しておく。
- ・自治会や消防団に積極的に参加する。
- ・災害に関心を持ち、避難ルートや避難所の確認をする。



8. 災害対応

22.7.15

1	14:52	大雨洪水注意報発令	
2	16:00	降雨開始	
3	16:15	中恵土地区の東海急送に土のう配布	
4	16:30	16:20 から 16:30 の間に 20mmの猛烈な雨を観測 土嚢の要請が入り始める	
5	16:30	建設部長から建設部各課に警戒態勢を指示 防災安全課に「兼山連絡所裏山ガケ崩れ」との電話が入り、防災安全課職員が土木課へ行くと職員3名程で電話対応にあたっていた この後、次々と電話が入りその対応及び地図への記入を開始した	
6	16:40	建設業協同組合に待機を要請、車両手配	
7	16:50	可児警察署災害対策連絡室設置	警察
8	16:45	ウェザーニュースよりメール 水防対策支援2(自宅待機レベル)	
9	16:50	兼山地内市道65号線で土砂と濁流のため通行できないとの情報 土嚢50袋	
10	16:55	国道 21 号線アンダーパス冠水の通報	警察
11	17:08	多治見市・八百津町・御嵩町に大雨警報発令	消防
12	17:10	建設業協同組合に出動を要請	
13	17:20	パトロールより国道21号線アンダーパスが冠水のため通行止めとの情報(~18:20)	
14	17:20	市役所から広見(田白)に土嚢を持っていくよう南消防署に要請	消防
15	17:20	農林課職員が城山林道土砂崩れ確認 通行止め実施	
	道路規制	可児市 今渡大東 国道21号線アンダーパス【7/15、17:20~18:20】 L=0.5Km 冠水	警察
16	17:25	南消防署指令課 可茂土木から可児川警戒水位に達したとの連絡有	消防
17	17:30	兼山地区で強い雨が続き(95mm/1.5h)避難所開設準備に入る 兼山連絡所前の道路が 10cm程度冠水 消防団(4-4)自主参集 土砂が流れて通行できない状況 4分団他部に応援を要請 土のう班と巡回班に分け活動	団
18	17:40	可児市役所下恵土 土嚢要請	消防
19	17:41	中隊長より 田白完了、下恵土へ向かうよう指示	消防
20	17:50	一般市民より南消防署 兼山 小林宅可成禅寺裏から水が出て崩れそう	消防
21	17:50	可児市役所 兼山に確認するよう依頼したとの連絡	消防
22	17:51	ウェザーニュースよりメール 水防対策支援3(登庁レベル)	
23	18:00	室原北側山から水が流れ出ている、通行に支障があるとの入電	消防
①	道路規制	可児市 兼山 (2)市道151号線他1路線 【7/15、18:00~7/16、17:00】 L=1.5 km 理由 南側山林崩落による道路への土砂流出	
24	18:15	兼山公民館避難所開設	

25	18:29	避難所開設メール配信 「18時15分兼山公民館を避難所として開設しました」	
26	18:30	可児川 広見観測所 水防警報(準備)発表	県
27	18:30	土のうが足りないため資材を購入して作り始める	
28	18:33	消防団第4分団要請 4-4(兼山)は出動、4-2は兼山の応援、その他は車庫待機	
29	18:40	各部長に災害対策本部を立ち上げるので参集するよう電話とメールで連絡する 「災害対策本部を立ち上げましたので登庁してください」	
30	18:42	平地地内災害 可児市防災安全課連絡 「新田川増水で道路が分からない状況通行止めをしているので交替してほしい」	消防
31	18:45	避難所開設防災無線放送	
32	18:45	指令課より 兼山 農協 西山歯科貴船神社山崩れ	消防
33	18:50	室原地内にいた職員に市道50号線アンダーパスを確認するよう指示	
34	19:00	災害対策本部設置	
35	19:00	南署職員第1次非常招集	消防
36		市維持管理課職員が市道50号線アンダーパス到着。冠水は認められず、支障なく通行できることを確認した。	
②	道路規制	可児市 柿田 (他)市道3273号線他2路線 【7/15、19:00～7/16、6:00】 L=0.7 km	
	理由	国道 立体交差点における道路冠水	
	道路規制	可児市 兼山 県道351号 御嵩川辺線 【7/15、19:00～7/16、13:30】 土砂流出	県
37	19:03	大雨洪水警報発令	
38	19:03	可児警察署災害対策警備本部設置	警察
39	19:05	可児市役所土木課に 平林浸水 住民避難要請	消防
40	19:12	土砂災害警戒情報発表 (18:50 御嵩町発表)	
41	19:16	ウェザーニュースよりメール 水防対策支援5(非常災害レベル)	
42		* 19時20分頃に通行した方から「点灯していた」との情報有り	
43	19:20	土田地内市道50号線アンダーパス周辺で停電 ~19:26(中電)	
44	19:25	本庁勤務課長召集	
45	19:25	委託業者(広見環境サービス)の担当者の携帯電話に「50号ポンプ停電」の通報があった。広見環境サービス2名が現地に向かうが、渋滞	広見 環境
46	19:26	西可児分署 非番召集	消防
③	道路規制	可児市 久々利 (他)市道1098号線 【7/15、19:30～規制中(片交)】 L=0.6 km	
	理由	久々利川越流による護岸崩落	
47	19:31	国道248号線秋田運輸前冠水との通報	警察
48	19:33	今 床下	消防
49	19:35	公民館避難所開設指示	
50	19:35	久々利 床下	消防

51	19:40	乗務員から岡下駐車場が冠水しているとの情報により現地に向かうが、踏切故障のため迂回する 現地に着いたときは通行止め(20:10 すぎ) * 19:35 頃通行したが冠水無し/19:40 頃通行冠水無し、赤い回転灯点いていた/19:40~45 頃通行 20cm 程冠水、赤い回転灯は点いていなかった、滝のように水が流れ込んでいた/19:45~50 頃通行赤い回転灯点いていた、冠水を確認し迂回したとの情報有り/19:47~50 三宅さん通話/19:53 細田さん通話	東岐
	道路規制	可児市 今渡大東 国道21号線アンダーパス【7/15、19:40~7/16、4:00】 L=0.5Km 道路冠水	警察
52	19:45	東濃信用金庫下恵土支店付近、今渡オートショー、塩河など各地で床下浸水	団
53	19:50	南署全職員非常参集	消防
54	19:53	土田市道50号線 救助事案入電	消防
55	19:55	避難所対応職員第1班に連絡網およびメールで連絡	
56	19:59	土田市道50号線 女性が車に取り残されているとの 110 番通報受理	警察
57	20:00	公民館・連絡所避難所開設 16日の学校の態勢を協議	
58	20:00	広見環境サービス現場着 この時点では消防署は到着していなかった カヤバ駐車場に駐車(道路には水が無かった) 車から歩いてポンプ場に向かう間に 20cm くらい浸水してきたため、止めた車を高い位置に移動するために、車に戻った。もう1名は駐車場前の市道で立ち往生していた車の誘導を消防署員とともにいった。誘導している間に水位はものの深さになった。	広見 環境
59	20:00	市職員市道50号線アンダーパスの現場に向かう。途中図書館前で車両4台が冠水していたのでバリケードを設置。各所で冠水のため現場に到着したのは 21 時 20 分ごろになった。	
60	20:00	下切 床下	消防
61	20:00	可児川増水のため広見橋の通行止を実施(右岸側にて 2-2)	団
④	道路規制	可児市 下切 (2)市道137号線 【7/15、20:00~規制中(片交)】 L=0.1 km 理由 異常出水による路側の崩落	
⑤	道路規制	可児市 柿田 (他)市道 3052 号線 【7/15、20:00~7/16、6:00】 L=0.3 km 理由 国道 立体交差部における道路冠水の恐れから危険と判断	
	道路規制	可児市 瀬田 県道 381 号 多治見八百津線 【7/15、20:00~7/17、14:50】 土砂崩れ	県
62	20:02	土田 三宅さんより 床上浸水との 110 番通報	警察
63	20:05	平林 浸水	消防
64	20:05	カヤバ駐車場付近も水位が急上昇して車輛を移動させる。	広見 環境
65	20:07	大王製紙可児工場北側踏切の遮断機が上がらないとの 110 番通報	警察
66	20:10	防災無線放送 「公民館・連絡所を避難所として開設しましたので避難してください」	
67	20:10	消防署が市道50号線(東側)を通行止めにしたとの情報	

⑥	道路規制	可児市 土田 (1)市道50号線 【7/15、20:10~7/17、23:40】 L=1.2 km	
	理由	可児川越流による道路冠水	
68	20:10	資材搬送車 土田①救助事案 ボート搬送のため平林から中署へ帰署、連絡する	消防
	道路規制	可児市 姫ヶ丘 国道248号線 【20:10~21:20】 道路冠水	警察
69	20:13	土田地内①救助工作車よりボート要請	
70		トラック内で雨が小降りになるのを待っていた運転手が、気づいた時には運転席に水が浸入してきたため、身の危険を感じトラックの屋根に避難する。車が流されているのを目撃するが、運転席からか屋根の上だったかは覚えていないとのこと。屋根の上から消防署員に助けを求める。消防署員は梯子を取りにいき梯子をかける。	東岐
		20:11 運転手救助	
71	50号 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・19:26 委託業者(広見環境サービス)が現地へ向かう ・19:35 冠水なし ・19:40 20cm程度の浸水でストップ(RV車は通過)赤色灯未確認 ・19:45 冠水で通行不能、赤色灯点灯、迂回 東岐運転手の情報でKYBが職員に車の移動を呼びかける放送を行う ・19:53 携帯電話通話終了 細田さん母は川側、娘は駅側のフェンスに掴まっている状況「娘を先に」との母親の言葉で泳いで助けに行く。フェンスを乗り越えられるところまで行きフェンスを越える。振り返った時には母親は流されていた。(救助者談) (報道による) ・20:00 委託業者現地着 急激な水位上昇 消防署員到着 鉄道交差部は暗くて確認できず ・20:05頃 KYB職員が車の移動をするが、間に合わなかった52台が水没 ・20:07 道路標識の脇で救助された女性を目撃(市議) ・20:11 東岐運輸運転手救助 <p>※ 時間は概ね</p>	
72	20:15	<p>全市に避難勧告発令を決定(38,516世帯、101,671人)</p> <p>全職員参集指示(電話連絡網)・消防団出動要請</p> <p>※全市では避難所の容量が足りないため2次避難所(小中学校の体育館)の開設が必要との議論になり、学校に連絡</p>	
73	20:15	可児川増水のため広見橋の通行止を実施(左岸側にて1-1) 東帷子古瀬地区で土砂崩れが発生した付近の住民に避難を勧める(3-4)	団
74	20:19	避難所開設メール配信 「土砂災害警戒情報が発令されています。連絡所、市の公民館を避難所として開設しましたので気を付けて避難してください」	
75	20:25	農林班職員に可児川支川の水位確認を指示 (~22:00)	
	道路規制	可児市 下恵土・広見 県道84号 土岐可児線 【7/15、20:25~7/16、6:00】	県

アンダーパス冠水、可児川高水位			
76	20:30	可児川 広見観測所 はん濫警戒(避難判断水位到達)情報発表	県
77	20:30	乗里「中郷川があふれそう」との連絡が入る 土田50号線「線路付近浸水」との情報	
78	20:30	蛭橋～広見橋浸水で避難誘導(腰までの深さ)、広見村木地区で浸水(1-1)	団
79		春里公民館から塩地区の排水作業の依頼があり現場へ向かうも、可児川増水のため対処できず通行止めに切り替える(3-1)	
80		平牧公民館から久々利川が氾濫との連絡を受ける 花フェスタ記念公園西で土砂崩れによる通行止め	
81	20:30	トラック28台と乗用車19台が流されているのを確認	東岐
⑦	道路規制	可児市 下切 (1)市道42号線 【7/15、20:30～7/16、17:00】 L=0.1 km 理由 南側民地からの土砂流出	
82	20:35	西側(虹ヶ丘地内)で通行止め。(警察)	
83	20:38	資材搬送車 ボート積み、土田地内①へ出動	消防
84	20:45	防災無線放送 「大雨により川が増水しています。また、山崩れの起こりやすい状況になっています。また、市内で床下浸水が多発しています。市内全域に避難勧告を発令しました。連絡所・公民館・学校を避難所として開設しましたので気を付けて避難してください。道路が冠水し危険な場合は2階に避難してください。水路や川には近づかないでください」	
85	20:45	塩橋冠水 通行止めを可児市本部連絡する	消防
86	20:45	石井地区 冠水 通行止めを本部連絡	消防
87	20:45	広見橋を確認 桁下 20cmくらいだったが大ペットボトルが桁に残っていたため最高水位は桁に達していると思われる	
88	20:50	中恵土公民館下300mで可児川決壊との情報。 職員を確認に向かわせる⇒排水路が流れず(内水氾濫?) 決壊ではなかったが、後日溢水の痕跡を確認 可児駅前冠水、蛭橋・広見橋通行できない(怖くて渡れない)との情報	
89	21:00	避難勧告メール配信 「大雨により川が増水しています。また、山崩れの起こりやすい状況になっています。また、市内で床下浸水が多発しています。市内全域に避難勧告を発令しました。……道路 が冠水し危険な場合は2階に避難してください。」	
90		全小中学校避難所開設確認 今春橋上流右岸冠水との連絡 下恵土地内 土岐可児線アンダーパス通行不可(職員から通報)	
⑧	道路規制	可児市 広見 (1)市道15号線 【7/15、21:00～7/16、6:00】 L=0.5 km 理由 可児川越流による道路冠水	
⑨	道路規制	可児市 塩河 (1)市道23号線 【7/15、21:00～7/16、17:00】 L=0.2 km 理由 西側民地からの土砂流出	
⑩	道路規制	可児市 下恵土 (1)市道59号線 【7/15、21:00～7/16、17:00】 L=0.3 km	

	理由	可児川高水位に起因する道路冠水	
91	21:00	土田50号線現場西側(虹ヶ丘側)から排水作業開始(2-1)	団
92	21:00	広見乗里地区で可児川JR鉄橋付近決壊し乗用車が流されているとの連絡が市議員から消防団(1-1)に入る	団
93	21:02	県河川課から「木曾川の水位が5.55mで氾濫注意 水防団準備」のFAXを受信	
94	21:07	資材搬送車 土田地内①へ出動。船外機搬送	消防
95	21:15	県防災課から「指定河川洪水予報(木曾川レベル2)」のメールを受信	
96	21:20	防災無線避難勧告(ポルトガル語・英語)広報	
97	21:20	谷迫間 梅田宅 裏山が崩れたとの連絡(福祉課)	
98	21:20	市職員市道50号線アンダーパス東側の現場に到着	
99	21:25	土田地内50号線現場「女性行方不明、子ども救出」の情報が入る	
100	21:26	避難所開設しました※追加情報をメール配信 「可児市全域に避難勧告が発令されています。…」	
101	21:30	土田地内50号線現場「男性1名行方不明」の情報が入る 行方不明者計2名	団
102	21:30	(2-3,2-4)現場付近の家屋に取り残されていた親子を消防団が救出(水は退いていた)土田公民館へ避難するよう消防車に乗せるが、親戚の家へ行く(22:15確認) (1-1)21:00ごろの広見乗里地区で可児川JR鉄橋付近決壊し乗用車が流されているとの情報により投光器を使って車内に人がいないかどうかの確認を行った⇒人なし 水位は堤防天端ギリギリ(堤防を歩いて決壊現場まで向かっている。この時点では溢水なし)(後日溢水の痕跡を確認)	
103	21:30	室原公民館21名避難。西可児広報・救急車にてピストン輸送	消防
104	21:30	土木班 広見橋～あけぼの橋～久々利川パトロール	
105	21:42	指令車 広見グラウンド南(瀬田側)、旧道規制実施	消防
	道路規制	可児市 久々利 県道84号 土岐可児線 【7/15、21:45～7/18、15:00】	県
106	21:50	土田地区① 車両8台確認、人的被害なし。これよりボートで検索	消防
107	21:54	下切で水没車両1台との通報	警察
108	21:59	広見地区② 車両2台が冠水し人がいる可能性ありのため、出動	消防
⑪	道路規制	可児市 石井 (2)市道111号線 【7/15、22:00～7/16、6:00】 L=0.7 km	
	理由	可児川高水位により危険と判断	
⑫	道路規制	可児市 中恵土 (他)市道3018号線 【7/15、22:00～7/16、6:00】 L=0.7 km	
	理由	可児川高水位により危険と判断	
⑬	道路規制	可児市 矢戸 (2)市道134号線 【7/15、22:00～規制中】 L=0.1 km	
	理由	矢戸川護岸崩落及び落橋	
109	22:15	土田地区①4トラック、乗用車10台冠水。内16台確認、人的被害なし。	消防
110	22:17	広見地区②救急事案、人的被害なし。	消防
111	22:25	広見児童館③に避難中の10名、水位が上がってきたため移動したいとの119通報。タンク車、救急車出動。	消防

道路規制		可児市 石井 県道 341 号 御嵩可児線【7/15、22:30～】瀬田川護岸崩壊	県
112	22:34	男性m、虹ヶ丘から走行中に土田①にて行方不明と連絡あり。	消防
113	22:30 ころ	消防団 1-1 から乗里橋付近冠水で通行止めにした方が良いとの要請。可児警察署に要請するも対応できないとのこと。市で対応するよう指示および現場を確認に向かわせる。	
114	22:38	可児川決壊との情報	
115	22:38	広見桜町地内、可児川決壊④	
116	22:40	広見 村木・乗里地区に避難指示発令（654 世帯、1,694 人） 消防団(1-1)・職員に各戸広報を指示	
117	22:43	タンク車、救急車にて児童館③検索するが、避難者は見当たらず。	消防
118	22:45	土田地内①行方不明の男性M詳細確認	消防
119	22:50	防災無線避難指示広報「大雨により可児川があふれています。床上浸水が起こる恐れがあります。広見地内の村木・乗里地区に避難指示を発令しましたので……直ちに避難してください。近所の人に声をかけて避難してください。……」	
120	22:55	土田地内①行方不明の女性H詳細確認	消防
121	22:58	避難指示をメール配信「大雨により可児川があふれています。床上浸水が起こる恐れがあります。広見地内の村木・乗里地区に避難指示を発令しましたので……直ちに避難してください。近所の人に声をかけて避難してください。……」	
122	23:00	避難者ピーク(79世帯、175人)	
123	23:00	タンク車広見児童館③付近にて避難広報実施。	消防
124		乗里大橋通行止めを実施(2-3)ブロンコビリー～サンクス 30cm程度の冠水	団
125	23:03	木曾川水防警報受信	
126	23:02	司令より、土田地内社会保険病院西側①警察ポート検索中であるが、トラックが流れてきているため難航。土田地内ガード下、警察にて検索中であるが難航中。	消防
127	23:08	現段階において、土田地内①行方不明者3名(19男性、26男性、46)。徒歩にて検索中	消防
128	23:10	顔戸橋通行止め。	
129	23:25	土田50号線現場にて消防団 2-4 が排水作業にあたる その後全団で排水作業	団
130	23:32	司令より、土田地内水没場所、ポンプによる排水をどのように行うか業者により検討中。ポンプ不良。	消防
131	23:50	司令より、土田地内ガード下①、業者用ポンプ4台設置し、0:30より排水予定。	消防
22.7.16			
132	0:13	可児市本部より、ワコービル南側⑤住宅で床上浸水のため出動(消防団より本部へ連絡)	消防
133		CBCネットにて、26歳男性不明の表記。	消防
134	0:25	ワコービル南側⑤、9件中7件が避難していないため、消防署から避難指示を出すよう依頼があったもの。	消防
135	0:35	消防団にてポンプ排水開始。	消防

136	0:39	避難所の体制を縮小するよう指示	
137	0:42	可児警察署長より、不明の19歳男性は生存確認の連絡。電話確認済み。	消防
138	1:00	1:30をもって小中学校避難所を閉鎖指示	
139	1:12	土田地区①待機中の水難隊6名は1時現場解散。	消防
140	1:12	資材搬送車帰署	消防
141	1:15	避難指示解除、桜ヶ丘ハイツ避難勧告解除(3,405世帯、9,521人) 35,111世帯、92,150人	
142	1:15	洪水警報が注意報に切り替わる	
143	1:20	防災安全課・建設部など必要な部署以外は、帰宅させるよう対策本部長の指示	
144	1:20	兼山盛住町 住宅の裏山土砂崩れの報告	
145	1:20	土田地区①業者用ポンプ1台が虹ヶ丘側に到着、これより排水開始。	消防
146	1:30	市職員の体制縮小（避難者がいない避難所については閉鎖する）	
147	1:30	国土交通省木曾川上流河川事務所から情報収集員2名来庁させるとの連絡	
148	1:45	南署 公休者 解散	消防
149	1:45	西可児分署 公休者 解散	消防
150	1:45	広報車、軽トラ、帰署。	消防
151	1:58	避難指示解除、避難勧告一部解除 メール配信	
152	2:13	下切地内(姫川)水没車両は無人と確認	警察
153	2:30	国土交通省木曾川上流河川事務所から情報収集員2名来庁(工務係長) 大型排水ポンプ手配を依頼	
154	2:30	道路パトロール実施 矢戸橋落橋を確認	
155	2:50	平林、水がひき道路等冠水なし危険性なし 東可児より連絡有	消防
156	3:28	土田地内、水位約50cm下がる。西可児分署長から連絡有	消防
157	4:00	可児川水防警報解除 (FAX受信 4:40)	
158	4:53	可児市内土砂災害警戒情報の解除	消防
159	5:00	市役所よりマルハン西側に水没車両があり、消防団により確認すると連絡有	消防
160	5:10	市役所よりマルハン西側の水没車両には、要救助者なしを警察が確認済みと連絡有	消防
161	5:40	避難勧告解除	
162	5:46	避難勧告解除をメール配信	
163	6:00	国交省の排水ポンプ車到着	
164	6:20	指令課より管内の警報すべて解除の報告	消防
165	8:30	避難者全員帰宅 (避難所閉鎖)	

消防団の活動状況

時刻	1分団	2分団	3分団	4分団
17:30				4-4 班長からの連絡で集合 土砂が流れて道路が通れない状況 地図を作成 土のうを積んだところを表示 ・土のう班・巡回班にわかる 4分団の部長に応援要請
18:30	1-1 広見橋で水位確認			4-1 集合後、東明小で土のう作り 丸山自治会から川の氾濫の連絡 ↑ 自衛消防隊に依頼、その後、巡回 4-2 古山分団長に確認の上、兼山に向かう 土のう作り 4-3 車庫待機後、巡回
19:00	1-4 車庫待機指示		3-1 分団長から電話あり	
19:30	1-4 県道善師野多治見線(今～塩河)冠水 交通整理	2-1 分団長の指示で集合、巡回 南署で袋をもらい、蘇南中で土のうづくり オートショウでの排水 今春トンネルを越えて巡回	3-2 塩河の自治会長から横市川の横の家が浸水した ため排水依頼	
19:45		2-2 東信下恵土支店付近 床下浸水		
20:00	1-2 車庫へ召集	2-2 団員召集、防災安全課に電話 南署で土のうづくり、巡回、広報の指示を受ける 可児駅前冠水、広見橋を通行止め(～4:00) 2-3 川合公民館で連合会長が本部設置	3-1 団員召集 3-2 団員召集 ・土のう班・排水班・巡回班にわかる 土のう150袋、危険箇所バリケード	
20:15 全市に避難勧告発令を決定・全職員参集指示・消防団全団出動要請				
20:15	1-1 川上議員より広見橋が危ないので 誘導の依頼 1-4 巡回、248の秋田運輸で不動車移動 谷迫間の納屋確認、2班体制に		3-3 巡回、石原川の流木撤去 避難勧告を広報 3-4 班長を招集、巡回 団員を車庫待機 美濃田の土砂崩れ、長坂の家に避難をすすめる 古瀬で周りが崩れた家に避難をすすめる (断られる)	
20:30	1-1 広見橋、蛸橋の間 浸水 避難誘導(腰ま での深さ) 1-1 広見村木(本町)地区で数件の浸水被害 避難広報・誘導 1-1 南署で土のうをつくり石井へ		3-1 公民館から塩地区の排水依頼 可児川増水のため排水できず、通行止めに 消防署室原公民館から春里公民館へ避難者移送 との無線を受信	4-2 公民館から久々利川が氾濫との連絡を受ける。 自衛消防に对应依頼 花フェスタ西で土砂崩れによる通行止め 兼山から戻り、東明小で土のう作り 二野の堤防道路には市でバリケード設置済 久々利川の警戒を行う
20:56 消防団員参集メールを一斉送信 (消防団員召集は決定していたが、指示が行きわたっていなかったためメールする)				
21:00	1-1 広見ランド南土砂崩れの懸念があり、 広跳ヶ丘団地の住民に対し避難誘導 ゆとりピアへの避難者送迎 1-2 避難誘導 1-3 車庫参集 可児川に野次馬がいたので離 れるようにと広報 中恵土公民館下流で決壊と の情報でパトロール	2-1 土田(50号)で冠水との情報 虹ヶ丘側から排水作 2-3 南署へ土のう作りへ向かう(分団長から土田への 指示) 班長を公民館、車庫に連絡係として配置 2-4 集合後、状況把握のため公民館へ 分団長より50 号の現場へ向かってくれとの指示		
21:30	1-1 JR鉄橋付近で堤防が決壊し車が2台流さ れているとの情報を受け車内に人がいないか どうかを鉄橋の上流側から投光器を使って確 認(人なし 墓に来た人で2台目がスリッパして 動けなくなったため、置いて帰宅したものと翌日 判明) 1-3 ラスパ付近の冠水くみ上げ 石井で交通整理(～22:30) ※くみ上げは翌1時頃まで	2-2、2-3、2-4 土田の取り残された人救出へ 2-4先着 水が退いていたので親子を救出し、2-3が公 民館へ送るよう消防車に乗せるも、瀬田の親戚の家へ 行くとのことと降りられる。 2-4 救出後、可児駅に向かうが、2-2、2-3がいたため、 土田(渡・大脇)の巡回へ戻る		
21:50	1-1 車庫に集合し人員確認			
22:00	1-1 広跳ヶ丘のがけ崩れの確認	2-4 土田50号排水	3-2 自衛消防隊に応援要請 巡回 危険箇所にトラバを設置	
22:30				
23:00	1-1 車庫待機	2-3 兼里大橋の西を通行止めに向かう プロコンピリー、サンクスの間、通行止め サンクス付近で30cmくらいの冠水 和光ビルあたりは腰まで浸かっていた 消防署と市役所が到着したので交代し土田へ (浸水家屋の排水を頼まれるが、土田を優先) 自警団にも連絡	3-3 土田50号排水	
0:00	1-1 土田50号排水		全団 土田50号排水 3-4 中切自衛消防隊から可搬ポンプを借り排水	4-1 部長、班長で巡回し、解散 4-2 部長、班長残し解散 4-4 兼山警戒班と土田排水班に分かれ活動 全団 土田50号排水 4-3春里小可搬ポンプ 解散したところは呼び戻す ↑
1:00	全団 土田50号排水 1-3今渡南小の可搬ポンプ	全団 土田50号排水		
6:00	1-4 堀川にて転落車両ありとの連絡 確認に 向かう 搭乗者なし(シマ・黒)			
9:00	1-1 50号の現場は解散となるが、広見兼里地 区で家屋の水出作業を行う(6名)			

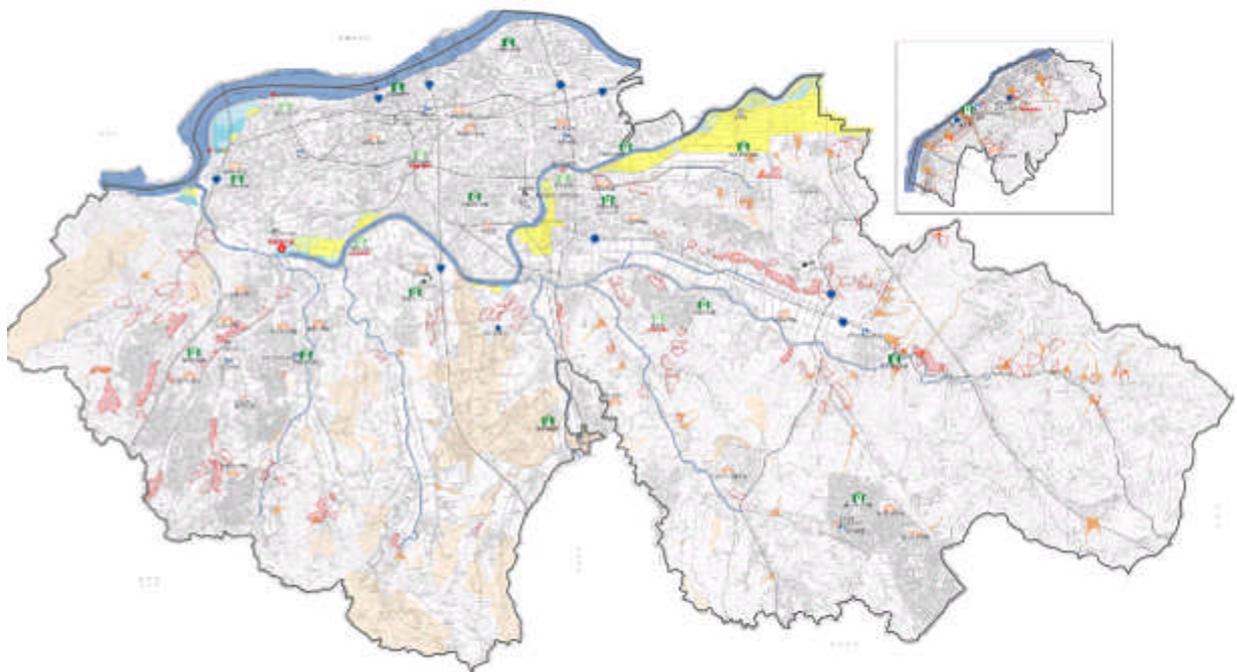
9. 防災情報

①ハザードマップ 可見市ホームページ

The screenshot shows the Kanagi City website's navigation menu. The '防災・救急' (Disaster Relief) section is highlighted, and the 'ハザードマップ' (Hazard Map) link is circled in red. The breadcrumb trail reads 'よく使う項目 > 防災情報 > 災害対策'.

Visible text on the page includes:
- 市民べんり帳
- 災害・救急 | 出産・育児 | 幼児・学校 | 婚姻 | 引越し | 暮らし | 高齢者・介護 | おくやみ | 福祉・相談 | 忘記項目の目次
- よく使う項目 | 防災情報 | 不審者情報 | ごみの出し方 | 施設予約 | 公共交通 | 健康だより | べんり帳の目次
- 最初のページ: 新着情報、お知らせ、ご案内、リンクなど
- 可見市の紹介: 市の概要、観光、文化財、人口、市の組織・施設など
- 市議会・選挙: 市議会、会議録、選挙管理委員会など
- 教育生涯学習: 教育委員会、学校、公民館、図書館、うるおいライブなど
- よく使う項目 > 防災情報 > 災害対策
- 災害対策
- 地震編
- 台風編
- **ハザードマップ**
- 防災ガイドブック(前半)
- 防災ガイドブック(後半)

洪水ハザードマップ



- 平成 18 年 3 月 作成
- 平成 18 年 6 月 市役所・連絡所で配布開始
- 平成 18 年 8 月 希望自治会に各戸配布
- 平成 21 年 9 月 縮小版を広報紙に折込

②防災行政無線

- ・ 防災行政無線の子局（スピーカー）は市内に 184 箇所。
- ・ 戸別受信機は市内の主な施設に 53 台。
- ・ 防災行政無線の放送はケーブルテレビ可児の告知放送で聞くことが可能。（兼山地区は兼山町時代に全戸に設置）
- ・ 防災行政無線の確認ができるよう電話で確認するシステムを導入。（H22.7.1）

保存版 ～ 防災無線放送が聞こえなかったときに～

「防災無線」電話で確認サービス

防災無線で放送された内容を、放送後に
電話で確認することができます!!

専用電話番号 むせんに いごよくはつきり
0574 62-1548

「広報かにかから……」

「今、何て放送してたのかしら？もう一度聞きたいけど……」

「そうだ、電話で確認できたんだわ」

上記の専用電話番号にダイヤルする

「広報かにかから……」
「よくわかったわ」

留意事項

- ・ 通話料金が必要になります
- ・ 放送後、24時間経過すると消去されます

7.15 集中豪雨災害防災行政無線放送履歴

放送日時	放送内容	決定時刻
7月15日 18:45	避難所開設（兼山）	18:25
20:09	避難所開設（公民館、小中学校）	20:00
20:45	避難勧告（市内全域）	20:15
21:21	避難勧告再放送（日本語・ポルトガル語・英語）	
22:27	避難勧告再放送（日本語・ポルトガル語・英語）	
22:51	避難指示（広見村木、乗里）	22:40

③防災メール

平成 22 年 10 月 14 日現在登録者数

種 別	件 数
災害時緊急メール	2,610
不審者（防犯）メール	2,305
ポルトガル語メール	86
英語メール	9
計	5,010

可見市ホームページ

The screenshot shows the homepage of Kani City with a navigation menu and a disaster information section. The disaster information section is highlighted with a red box around the 'Disaster Emergency Mail' and 'Suspicious Person Information Mail' link.

防災情報

- 7月15日豪雨災害関係
 - 7月15日に可見市を襲った豪雨に関する情報です。
 - 災害時緊急メール、不審者（防犯）情報メール**

災害の発生情報や緊急の防災情報が送られてくる災害時緊急メールと、不審者情報を中心とした不審者（防犯）情報メールを登録いただけます。また、その他の携帯電話向けの防災サービスを紹介しています。
- 災害対策

地震や台風についての情報と、地震の時の揺れやすさや洪水の危険性を地図にしたハザードマップ、災害時の対処法をまとめたガイドブックをご覧ください。
- 防災気象情報

岐阜県や可見市の天気や河川の情報など、防災に係る気象情報を掲載しているサイトのリンクです。
- 地域防災計画

地域防災計画は、可見市の地域にかかる防災に関する事務又は業務についての役割を明確にし、総合的な運営を計画化したものです。
- 国民保護

国民保護法は、日本への武力攻撃やテロなどから国民の生命や財産を守るために国や県、市などの公共機関が協力して対応することを定めています。

時 間	内 容
7/15 18：29	兼山公民館避難所開設
20：19	公民館避難所開設
21：00	避難勧告発令
21：26	避難勧告追加情報
22：58	避難指示発令
7/16 1：58	避難指示解除、避難勧告一部解除
5：46	避難勧告解除

10. まとめ

- ①7月15日の豪雨に対しては、短時間に事態が深刻化したため、対策本部として十分な対応を取ることができなかった。
- ②災害時の体制として、ソフトウェアとハードウェアの整備は行っていたが、十分ではなかった。また、想定外の事態に対処するヒューマンウェアとコマンドウェアの点で改善すべきところがあった。
- ③避難勧告の出し方についてマニュアルの見直しを検討する。

市内全域で発生した災害時に自治会単位で発表することは、数が多くなりすぎて分かりにくい。今後は、避難勧告の意味・伝達方法などを周知するとともに、自ら判断して安全に避難する、自助の考え方を普及させる必要がある。(自治会数 135)
- ④災害対策支部と避難所が兼ねているので、早期に職員を参集できる体制の構築と役割分担を明確にする必要がある。

被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害を教訓に、市の防災体制を強化することは勿論、日頃から警察・消防・消防団などとの連携を確認するとともに、災害時要援護者をサポートする体制を強化し、常に防災体制を見直し改善を進めます。また、被害に遭われた方の心のケアや支援策についても、取り組んで行きます。

この検証を踏まえ、二度と同じ事が起こらないよう取り組んでまいります。

可児市災害対策本部
